

## 令和3年度

# 岐阜県家庭教育支援推進事業（家庭教育支援員）の活動報告書

### ◆市町村名

中津川市

### ◆配属部署

文化スポーツ部生涯学習スポーツ課

### ◆家庭教育支援員の役割

今後の家庭教育支援を担っていく人材の発掘、育成するため、子育てマイスター養成講座を開催し、現場での実習を通して、即戦力になる力をつける支援をする。

今年度もコロナ禍での乳幼児学級開催に向けて、安心安全な運営を目指して担当者と共に検討し、運営を支援する。

家庭教育支援の啓発のため、定期的に家庭教育つうしん「こそだておやそだち」を発行。子育て親育ちガイド「ひとねる」の今年度版を作成し、各地域の保護者に配布し、その活用方法を広める

職場における家庭教育についての理解を深めるための講座を開催する

### ◆主な活動

#### ■人材育成

- ・子育てマイスター養成講座の開催  
第3期を現在実施中（令和4年2月1日閉講式予定） 受講生36名
- ・子育てマイスター養成講座修了生が、家庭教育支援チームの一員として、各地区の乳幼児学級サポート、集団託児、子育て支援拠点事業、保育士補助等の場で活躍できるように指導、支援していく。

#### ■学習の機会の提供

- ・幼小中学校で開催の家庭教育学級の支援
- ・13公民館で実施の乳幼児学級の支援
- ・ノーバディーズパーフェクト講座の支援

#### ■ネットワークの形成

- ・乳幼児学級担当者会議を開催し、乳幼児学級の運営方針、コロナ禍における安心安全に学級を運営するために、前年度の反省から具体的な運営方法を討議した。
- ・家庭教育推進会議はコロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送ったが、2月に家庭教育支援アドバイザーの方にお越しいただき、現在の状況把握、これからの家庭教育の在り方について討議する会を開催予定で、現在準備している。

#### ■研修

- ・家庭教育支援員、家庭教育支援チームの活動をしていく上での心構えや、他の自治体の取組、今の子育ての状況等、県の研修会に参加し学んだ。

#### ■職場における家庭教育支援の充実

- ・ワークバランスセミナーの開催  
コロナ禍において、企業で開催するのは難しいので、市役所職員係長級4年目職員を対象としてキャリアアップ研修開催の際に少しの時間をいただいて開催をした。恵那県事務所振興防災課の嶋倉伸蔵先生に家庭教育の大切さを伝えて頂いた。

#### ■家庭教育支援啓発

- ・家庭教育学級つうしん「こそだておやそだち」の発行  
市内の乳幼児学級の活動紹介を中心に、コロナ禍での家庭での過ごし方、生涯学習スポーツ課が開催する講座（ノーバディーズパーフェクト・ベビープログラム・子育てマイスター養成講座）の紹介をし、主に乳幼児期の子育て家庭に向けて発信している。
- ・子育て親育ちガイド「ひとねる」令和3年度版の発行  
令和2年度版に続き、令和3年度版を作成  
2000部を印刷し、市内公立、私立幼保育園、子ども園の3歳児を対象に配布。  
また、各乳幼児学級で支援員が活用の仕方を伝えながら、配布をした。

## ◆成果

### ○人材育成

子育てサポーター養成講座の受講生に、現場で実習する機会を設け、実際に子育て支援でやる読み聞かせや手遊び、サポート、託児等を体験し、座学だけでは学べない距離感や、親さんたちが必要としている支援などを知る事が出来、自信につながった。修了生が家庭教育支援チーム「すくすくわくわくまあるいこころ」に入会し、集団託児、乳幼児学級のサポート、講師、子育て支援拠点スタッフ、保育士補助の場で活躍している。

また、各幼保小中学校のPTA活動に参加し、役員として積極的に関わり、他の人たちに家庭教育の大切さを伝え広げるインフルエンサー的役割をしている。

### ○学習の機会の提供

コロナ禍で学校等での大規模な講演会、サロン型の学級の開催は難しく、夏休みなどの長期休みを利用した食育や、家庭での読み聞かせ、「話そう！語ろう！我が家の約束」運動、学力アッププログラムの実施などの在宅型が多く開催されている。

また、一般社団法人全国ICTカウンセラー協会代表理事・ネットいじめ対策協会理事長の安川雅史先生の講演会をコーディネートし、3日間に渡り、市内の小中学校、家庭教育学級8か所での講演をしていただいた。SNSやネット社会で起きている犯罪やいじめについて、親子で考えさせられる内容で、親や先生方から大変好評であった。

### ○ネットワークの形成

- ・コロナ禍において、家庭教育推進会議の開催はできていなかったが、代替え案として、人と話し、「交流する機会がほとんどない中での子育てに何が 필요한のか、親が何を求めているのか、これから家庭教育支援の在り方」について、有識者・アドバイザーの方にお集りいただき、討議する機会を今年度中に計画している。
- ・乳幼児学級担当者会議を年に2回ほど開催するようになってから、担当者の乳幼児学級に対する認識が深まっている。他の地域の学級のやり方を取り入れるなど、学級生の皆さんと話し合い、皆さんのやる気を引き出し、学級を運営できるように担当者が動けるようになってきている。

### ○家庭教育支援啓発

- ・「こそだておやそだちつうしん」も軌道にのり、年6回程度発信できている。乳幼児学級に取材に行き、地域の特色ある活動等をお伝えしている。また、生涯学習スポーツ課で開催している、子育てマイスター養成講座、ノーバディーズパーフェクト、ベビープログラム等の様子や、講師の先生の講話等も交えながら、コロナ禍の家庭での過ごし方なども紹介している。今後はもっと多くの保護者の方の手に届くよう工夫をして、子育て中でも学べる機会がたくさんあることを伝えて、参加者を増やしていきたい。
- ・子育て親育ちガイド「ひとねる」令和3年度版を作成し乳幼児期の保護者へ配布した。乳幼児学級では、直接活用法を説明しながら配布をした。子どもを一人育てるのに、これだけ多くの支援があるということを感じていただき、分からないことがあれば、子ども家庭課や包括センター等が活用できるなど、ご理解頂くことができた。

### ○職場における家庭教育支援の充実

- ・コロナ禍で人が集まる機会の少ない中、職場の中堅層30名に「家庭教育の大切さ」を伝えて頂きました。その人たちから「家庭教育」のワードの広がりを期待できるような内容であった。
- ・人とのかわりが極端に薄れていくこれからの時代に、働く人たちへの家庭教育を理解していただく講座はとて重要になると思う。今後職域にどのようにして家庭教育支援を展開していくかが課題である。

## ◆問い合わせ先

中津川市生涯学習スポーツ課（安藤）

0573-66-1111 (4309)